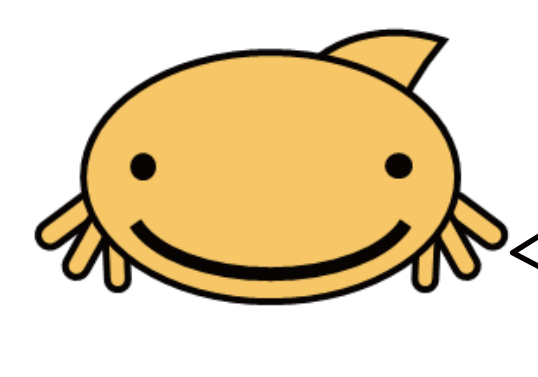
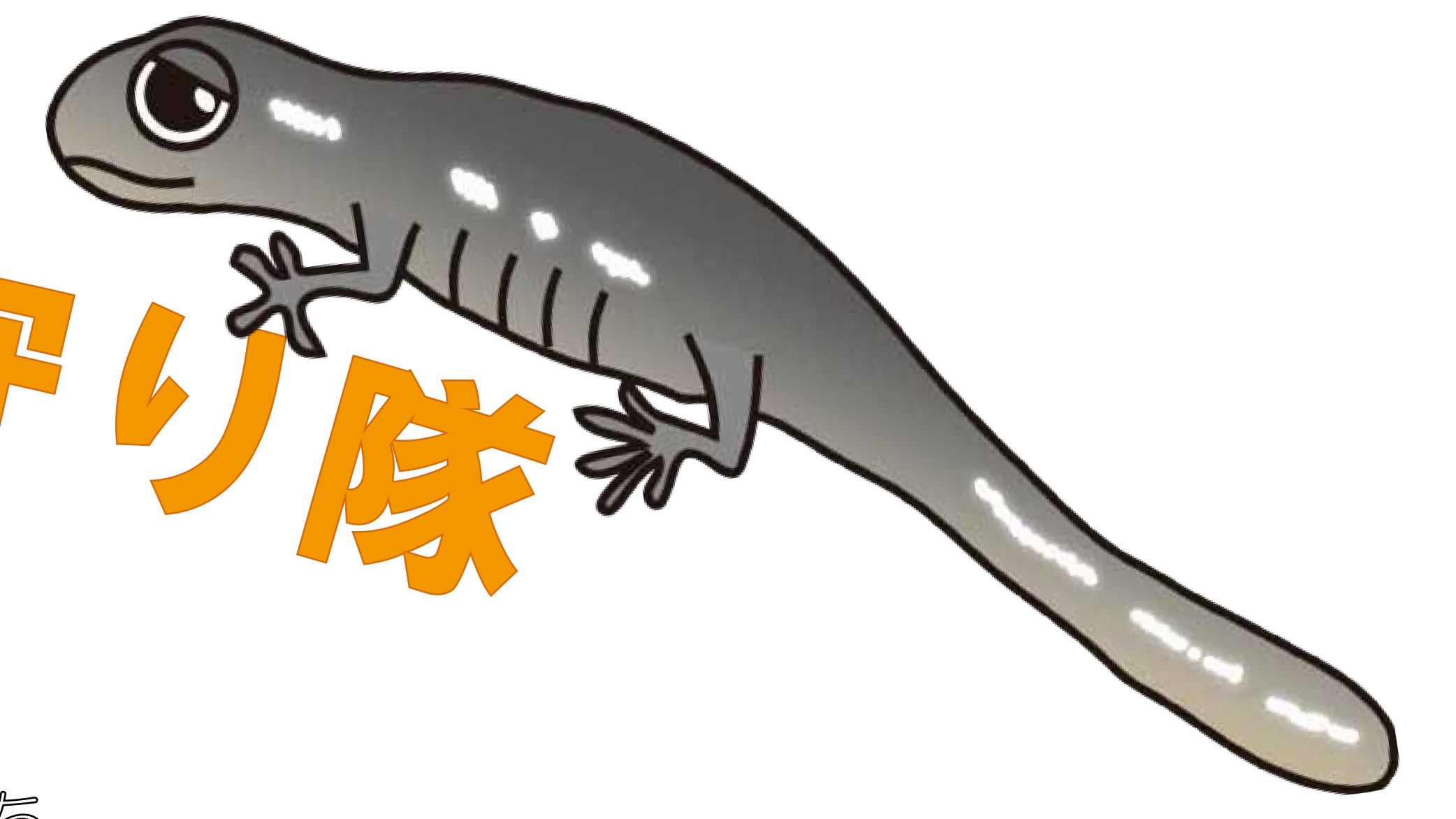
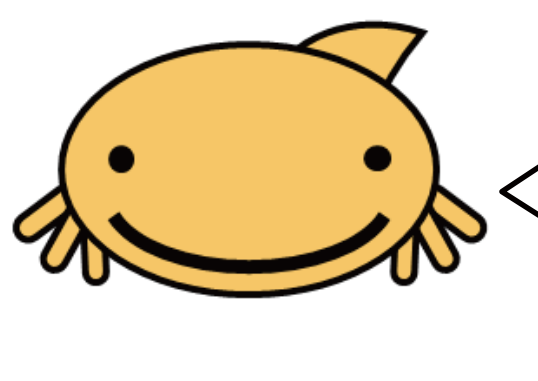




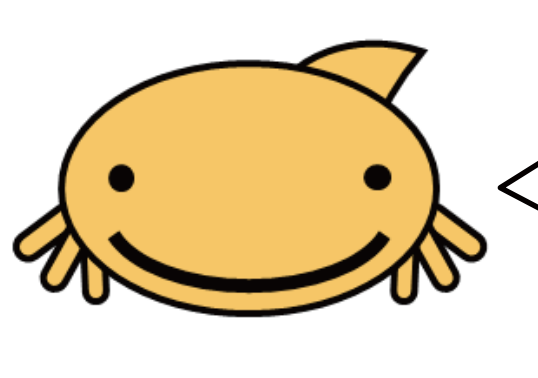
# 判田校区ふれあい広場 オオイトサンショウウオを守り隊



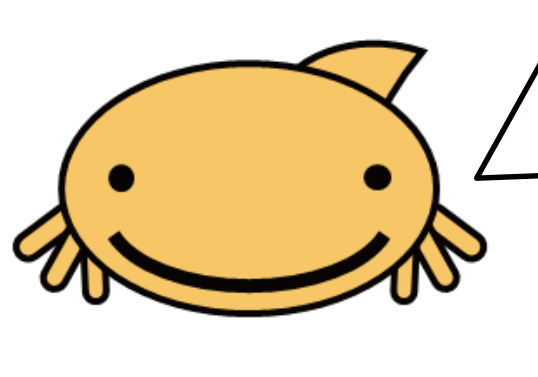
しっちゃん？  
オオイトサンショウウオ？



ボクらは大分県内に  
しか住んどらんのでえ！  
\*熊本県、宮崎県、高知県の一部にも少しだけ生息しています。



ちょっと前までは大分市内  
のどこでもおったんでえ！



やけど、最近人はボクらの  
生息地を壊したりするけん、  
しんけん姿がみられんように  
なってしまったんでえ(T\_T)

『大分の自然と文化と農業に根付いた地域づくり・人づくり』プロジェクト  
■助成：放送大学 (2013年度学長裁量経費事業)  
■実施：判田校区ふるさとづくり運動推進協議会  
産卵時期は2月～4月です。  
生態学研究室



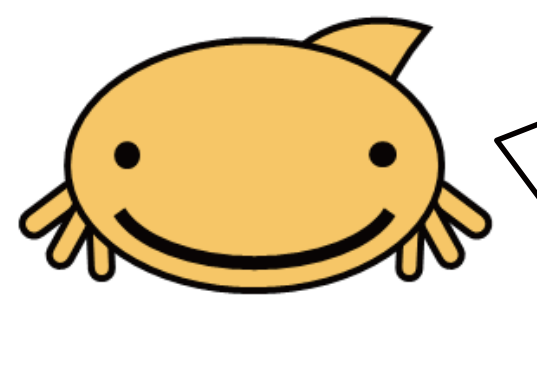
大人（成体）は森の落ち葉の下でダンゴムシなどを食べて暮らしています。

上陸時期は6月から8月です。

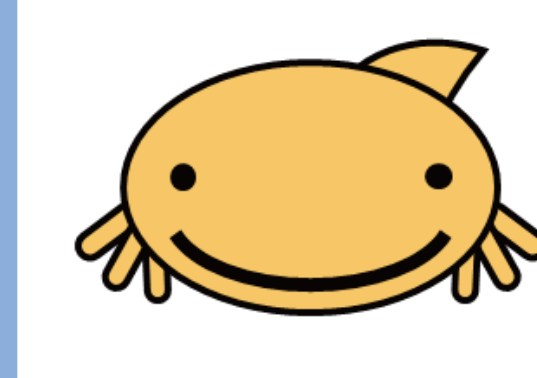


卵とオタマジャクシの時期は水の中で水生昆虫などの小さな生き物を食べて成長します。

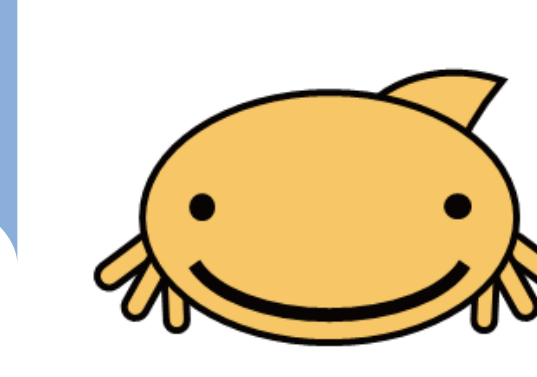
## オオイトサンショウウオの生活史



やけんボクらは大分県、日本、世界の絶滅危惧種に指定され、ボクらの生息環境の改善、生息数の回復が求められちゃんや！



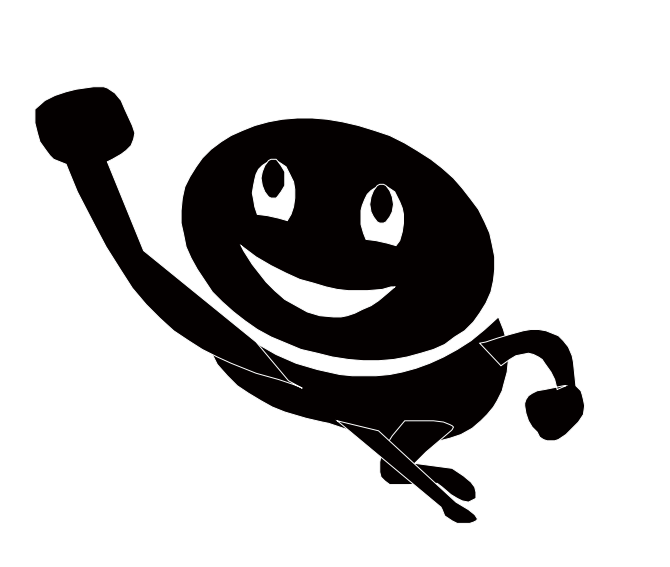
なんと！ボくらオオイトサンショウウオはふれあい広場にも生息しちゃんや！(^o^)



やけど、ここもボクのオタマが暮らしやすい水場がほとんどないけん絶滅の危機なんよ(>\_<) たすけてー(>o<)



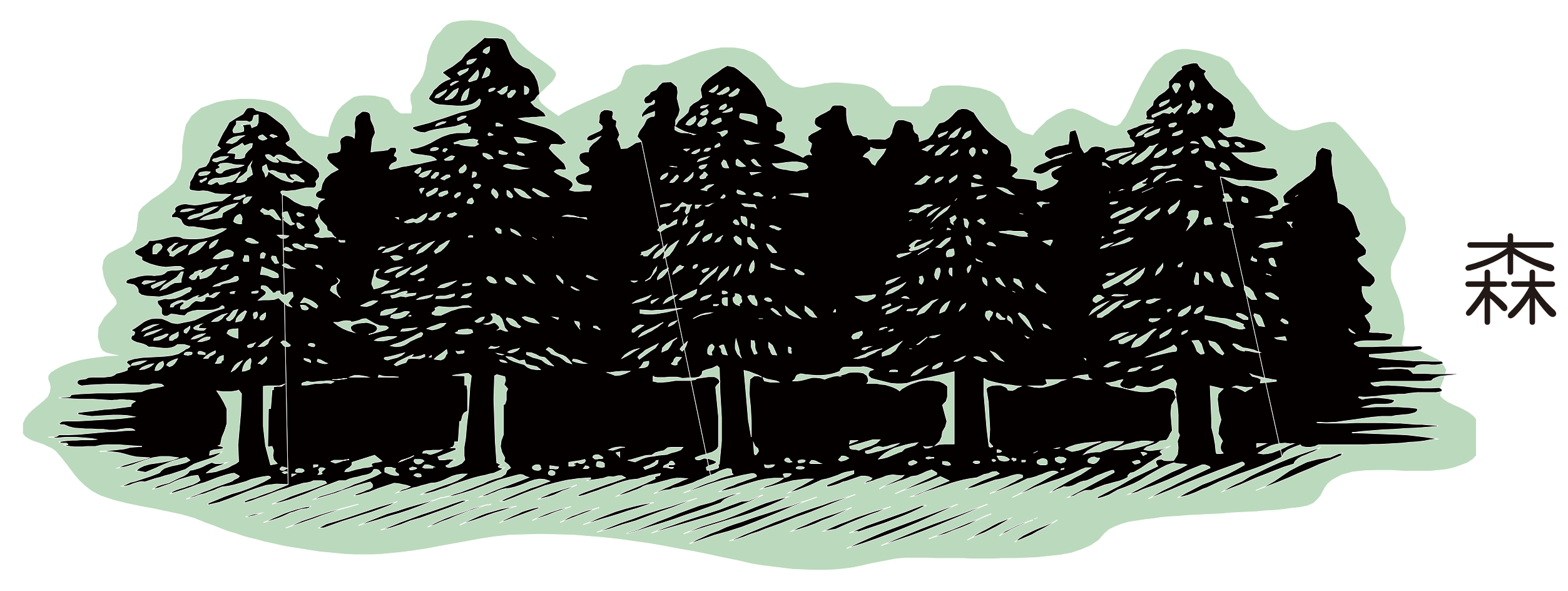
ということで、ここのオオイトサンショウウオを守り育てていくためにできることを考えました。



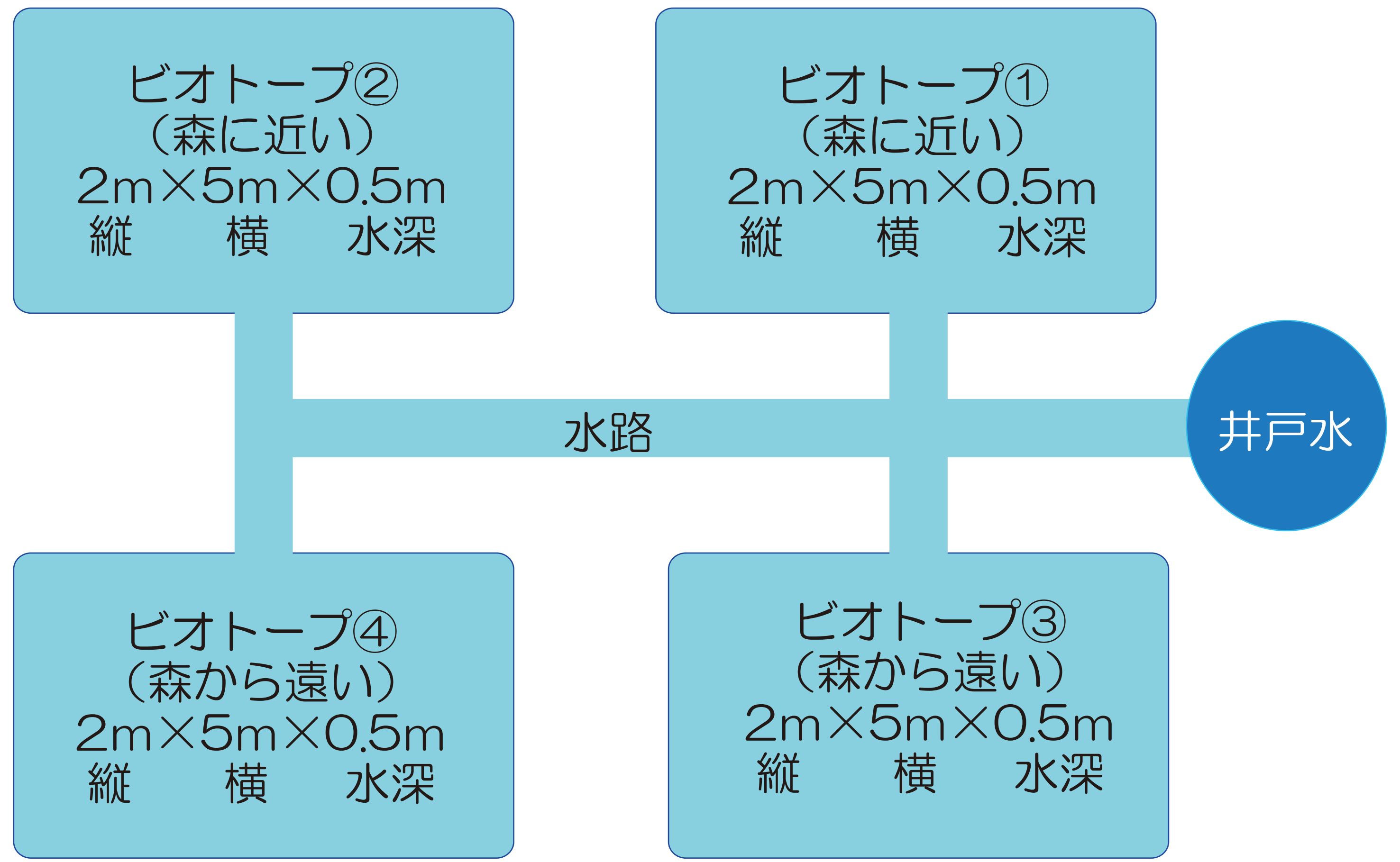
まず、オオイトサンショウウオが卵・オタマの時に必要、かつ、ここに不足している水場をビオトープとして新たに作ることにしました。



普通につくるだけでは面白くないので、森からの距離が異なる水場を4つつくりました。



森



創造中のビオトープの略図



ビオトープ①

ビオトープとは  
'生物が暮らす空間'  
を意味するドイツ語  
由来の言葉です。

## これからの活動計画

毎月、生き物（サンショウウオの卵のう）+環境の調査を行い、生物と環境の変化を調べる。



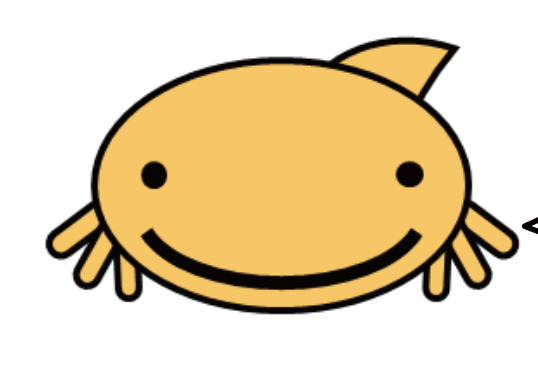
いきいきタイム、判田小、大分大学などと連携して自然観察会、更なる保全活動。



未定。



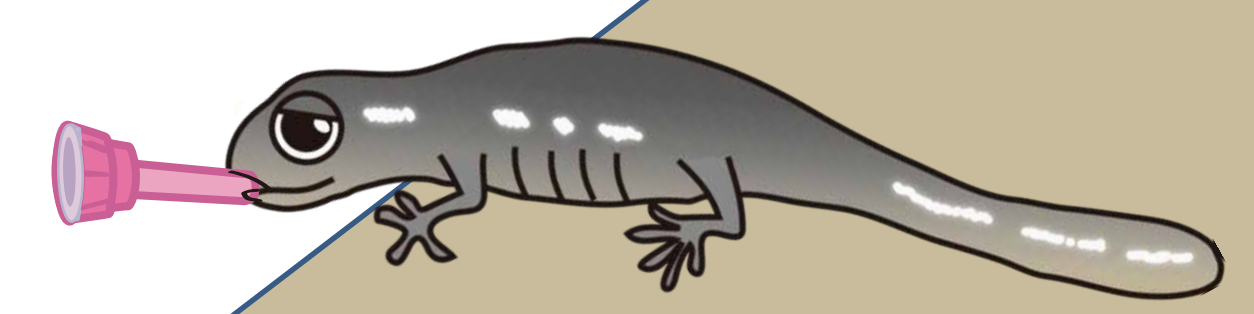
未定。



判田の生き物たちを守るために僕たちが  
できること、他に何かあるかな？

## ! WANTED !

オオイトサンショウウオ（の卵）  
を見つけた人は、大分大学の永野昌博  
+北里秋穂まで連絡ください！  
〒870-1192 大分市旦野原 700  
大分大学 教育福祉科学部  
生態学研究室  
電話 097-554-7576  
FAX 097-554-7576  
masanagano@oita-u.ac.jp



■助成  
放送大学 2013 学長裁量経費  
(放送大学 大分学習センター)

■実施者  
判田校区ふるさとづくり運動推進協議会  
+  
大分大学 教育福祉科学部 生態学研究室 (永野ゼミ)

■プロジェクト名  
『大分の自然と文化と農業に根付いた地域づくり・人づくり』